

令和2年度F C東京連携事業一覧表

No	担当課	事業名	新規・継続
1	広報課	市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）や市報での情報発信	継続
2	広報課	調布市 暮らしの便利帳 2021-2022年版の発行	継続
3	人事課	「令和3年度調布市職員採用案内」への画像掲載	継続
4	管財課	ポスター掲示, チラシ・パンフレットの配架, 懸垂幕の設置	継続
5	協働推進課	第7回調布まち活フェスタ	継続
6	産業振興課	バナーフラッグ作成・掲示	継続
7	産業振興課	調布市スーパープレミアム付商品券事業	継続
8	産業振興課	F C東京「青赤パーク」後援	継続
9	産業振興課	デジタルサイネージ（実証実験）への協力事業	継続
10	オリンピック・パラリンピック担当	調布市応援アスリート紹介の作成	継続
11	オリンピック・パラリンピック担当	調布市応援アスリートからのメッセージ動画	新規
12	子ども政策課	子ども条例普及啓発事業	継続
13	福祉総務課	第70回”社会を明るくする運動”	継続
14	高齢者支援室	高齢者体操教室	継続
15	障害福祉課	あおぞらサッカースクールin調布	継続
16	障害福祉課	障害者余暇活動支援事業（ほりで～ぶらん）	新規
17	保険年金課	個人情報目隠しシール及び封筒でのドロンパ使用	継続
18	指導室	F C東京選手会 小学校訪問授業	継続
19	社会教育課	成人式	継続
20	図書館	「F C東京選手の私のすすめるこの一冊2020」発行	継続
21	調布市体育協会	第6回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
22	社会福祉協議会	FC東京×赤い羽根共同募金 チャリティーコラボピンバッジ販売	継続
23	スポーツ振興課	ソーシャルディスタンス啓発横断幕	新規
24	スポーツ振興課	指導者講習会（オンライン）	継続
25	スポーツ振興課	子どもサッカー体験教室	継続
26	スポーツ振興課	小学生サッカー教室	継続
27	スポーツ振興課	自宅でできる「簡単」エクササイズ	新規
28	スポーツ振興課	ルヴァンカップファイナル応援企画	新規
29	産業振興課 スポーツ振興課	調布市F C東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム	継続

所管 広報課

事業名称 市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）や市報での情報発信 継続

実施日 リーグ戦の前やルヴァンカップファイナルなどのタイミングで随時実施

実施内容 FC東京の選手から市民に向けてのコメントやユニフォーム着用デーなどの取組を、市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）で写真や動画で配信した。市報ちょうふでも、FC東京の応援メッセージ等を掲載した。

【#調布市 × #柏市 応援企画「ユニフォーム着用デー」】
 我々が #FC東京 は明日ホーム #味の素スタジアム で1
 リーグ最終戦を迎えます! #ルヴァンカップファイナル
 の対戦相手 #柏レイソル ホームタウン・柏市との連携
 企画を本日実施中!頑張れFC東京!
city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1... #fctokyo #chofu
 #調布



【ルヴァンカップファイナルに向けた #調布市 × #府中市 × #三鷹市 応援企画!】
 我々が #FC東京 は1月4日 #ルヴァンカップファイナル
 に出場します!FC東京のホームタウン、調布市・府中
 市・三鷹市が連携してFC東京応援デーを明日実施!頑張
 れFC東京!
city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1... #fctokyo #chofu
 #調布



33 · 2020年12月24日 · Twitter Web App
 イートアクティビティを表示
 カリツイート 2 件の引用ツイート 174 件のいいね

課題等

FC東京の投稿内容は閲覧者の反応が良くフェイスブックやツイッターでは常に多くのいいねが付いている。また、ルヴァンカップファイナルに向けて調布市×柏市応援企画や調布市×府中市×三鷹市応援企画などの発信を行うことで、地域からチームを応援していることをPRできたことに加え、自治体同士の交流につなげることができた。

直接選手と交流できる機会が減っていることから、選手や石川CC、FC東京のスタッフの皆さんからコメントなどをもらい、引き続き、市SNSで投稿することでFC東京を身近に感じ、新たなファンの獲得につなげていきたい。

所管 広報課
 事業名称 調布市 暮らしの便利帳 2021-2022年版の発行 継続

実施日 令和3年2月

実施内容 令和3年2月に発行した調布市暮らしの便利帳に、FC東京を紹介するページを設け、チーム沿革や地域貢献活動の報告等を掲載。

発行部数：14万部(市内全戸配布)
 規格：A4 フルカラー 160ページ(表紙を除く)



課題等

市内に全戸配布する冊子にFC東京の情報を掲載することで、市民の市とFC東京への愛着醸成に繋がった。また、転入者に対しても市の大きな魅力として発信することができた。

今後、ページ数やスペース確保の課題はあるが、選手の写真とともに、監督や選手のメッセージを掲載することで、親近感が生まれFC東京への愛着の増進に繋がると思う。また、発行が2年に1回のため、常に最新の情報でないことが課題である。

所管 人事課

事業名称 「令和3年度調布市職員採用案内」への画像掲載

継続

実施日

-

実施内容

職員採用案内に、FC東京と連携して実施した事業の画像を掲載し、採用試験受験者に少しでも市の仕事のイメージが伝わるよう、より魅力的な職員採用案内を作成する。



課題等

採用案内に、FC東京と連携して実施した「FC東京 子どもサッカー体験教室」の様子を掲載しました。
市民の方にスポーツに興味・関心をもってもらうために、FC東京と連携したイベントを実施していることを採用試験受験者に紹介することで、市職員の多様な仕事のイメージを伝えることができた。

今後は、市民とFC東京の選手だけでなく、市職員がFC東京の選手などと連携・協力している様子が伝わる写真を掲載し、採用試験受験者が市の仕事に対するイメージをより感じられるような採用案内を作成していきたい。

所管	管財課
事業名称	ポスター掲示, チラシ・パンフレットの配架, 懸垂幕の設置 継続

実施日 通年

実施内容 依頼に応じて, 市庁舎内の掲示板での試合日程等のポスター掲示及びチラシ・パンフレットの配架, 懸垂幕の設置を行った。



課題等

所管

協働推進課

事業名称

第7回調布まち活フェスタ

継続

実施日

令和3年3月7日（日）

実施内容

調布まち活フェスタは、多くの市民に多彩な市民活動に触れていただく機会を提供するとともに、市民活動団体同士の交流の場として、市民活動の活性化につながることを目的としたイベントです。今年度は、Youtube配信による完全オンラインで実施いたしました。

イベントの全体企画として、視聴者向けに、番組放送中約1時間毎に発表されるキーワードを集めて応募すると、抽選で豪華景品が当選する企画を実施し、その豪華景品の1つとして、FC東京様から昨年度御提供いただいたFC東京選手のサイン入りサッカーボール（2個）を用意いたしました。

応募締切後、当選した2名の方にサイン入りボールを1個ずつ発送いたします。



課題等

例年FC東京様からは、サイン入りサッカーボールを御提供いただき大変ありがたく思っております。次年度以降も同様にボールの御提供をお願いしたいです。

また、例えばFC東京ブースを設けて出展していただいたり、FC東京PR動画を作成して放送・出演していただいたりするなど、今までよりさらに発展した御協力をいただけると嬉しいです。

所管 産業振興課

事業名称 バナーフラッグ作成・掲示

継続

実施日 令和2年7月から令和2年10月まで

実施内容 市内商店会の街路灯へFC東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け、一定期間掲示し、市としてFC東京を応援する事業。



課題等

調布市がFC東京を応援していることと、新型コロナウイルス感染症予防の呼びかけを効果的に調布市を訪れた人たちに効果的に伝えることができた。

来年度についても引き続き掲示することで、FC東京との関係を強化していきたい。

所管	産業振興課
事業名称	調布市スーパープレミアム付商品券事業 継続
実施日	令和2年9月28日から令和3年2月28日まで
実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活への支援と併せ、市内消費喚起による事業者の支援及び地域経済の回復・活性化へつなげることを目的として総額26億円、プレミアム率30%の商品券事業を実施。 商品券の券面や告知チラシ等にドロンバを使用。
課題等	全戸配布の告知チラシ、20万冊の商品券などにキャラクターが掲載されたことにより、認知度の向上に寄与することができたと考える。 調布市スーパープレミアム付商品券事業は、今年度で終了するが、今後、類似事業を行う場合は引き続き連携を行っていく。



所管 産業振興課

事業名称 FC東京「青赤パーク」後援

継続

実施日 令和2年12月19日

実施内容 FC東京のホームゲームで、ファン・サポーターに対して各種産業・スポーツ及び文化活動等をPRする、「青赤パーク」の後援。



課題等

FC東京ファン及びビジターチームファンが1試合につき3万人近く来場することから、調布のまちのPRとともに、スタジアム周辺のにぎわいの創出と地域経済の活性化が期待される取組。

今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年の「調布の日」に行っている調布市のPRブースを設けることができなかった。

今後もより効果的なPRとなるよう、イベントの紹介や物産品販売等、充実したPR方法を検討していきたい。

所管

産業振興課

事業名称 デジタルサイネージ（実証実験）への協力事業

継続

実施日

平成30年10月1日から令和2年9月30日まで

実施内容

市が協力する下記実証実験に対し、研究目的の達成水準を高めるため、デジタルサイネージに表示するFC東京のコンテンツ作りを行った。主に、コンテンツに必要となる素材（写真等）の提供に御協力をいただいた。

【実証実験】

主 催：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

期 間：2018/10/1～2020/9/30

テーマ：IoT（デジタルサイネージ）とビッグデータを活用したデジタルエリアマネジメントソリューションの研究

台 数：2台（飛田給駅・味の素スタジアム周辺）



課題等

利用者（取得データ）の増加を目的に、FC東京サポーターをメインターゲットにした企画を実施するため、素材を活用し、デジタルサイネージの仕様変更に着手したが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の影響で、作業工程が大幅に遅れ、実証実験の終了までに実装することができなかった。サイネージでの素材の活用方法を考え、構築する機会を得られたことは大変貴重なものとなったが、実装して、効果を検証できなかったことは、大変残念な結果となった。当該事業は今年度で終了となるが、今後、類似事業がある場合は引き続き連携を行っていきたい。

所管 **オリンピック・パラリンピック担当**事業名称 **調布市応援アスリート紹介の作成****継続**実施日 **令和2年10月15日**

実施内容

調布市の応援アスリートを紹介するページを調布市ホームページに掲載。調布市出身でFC東京に所属の平川怜選手(令和4年1月31日まで育成型期限付き移籍のため松本山雅FCに所属)のプロフィールや戦歴等を掲載。また、平川選手がサッカーを始めたきっかけなど、書面にてインタビューさせていただいた内容を同じく市のホームページやオリンピック・パラリンピック担当のSNSで発信した。

The screenshot shows the Chofu City website's profile page for soccer player Rina Hirakawa. The page is titled 'サッカー「平川 怜」選手' and features a large profile picture of the player. To the right, there is a 'プロフィール' (Profile) section with the following details:

- 選手名:** 平川 怜(らびら れい)
- 競技:** サッカー
- 生年月日:** 平成12(2000)年4月20日
- 出身地:** 東京都 調布市
- 所属:** FC東京
- ポジション/クラス:** MF(ミッドフィールダー)
- 調布市応援アスリート期:** 平成30(2018)年7月24日

Below the profile, there is a '主な戦歴' (Main Career) section listing various tournaments and teams:

- 平成27(2015)年:** FC東京U-15(FC東京)
- 平成28(2016)年:** FC東京U-18 (第40回日経・ユースカップ第24回予選)、高円宮杯U-18サッカーリーグ
- 平成29(2017)年:** 第41回日本クラブユースU-18サッカーリーグ、高丸宮杯U-18サッカーリーグ
- 平成31・令和元(2019)年:** FC東京U-15E、FC東京U-16E、FC東京U-17E、FC東京U-18E

On the right side of the page, there is an 'インタビュー内容' (Interview Content) section with several questions and answers:

- サッカーを始めたきっかけは何ですか?**
学校の練習に参加し、サッカーが楽しかったことがきっかけです。
- サッカーの魅力を教えてください**
試合に勝って、ファン・サポーター、応援してくれる人、チームメイトと喜びを分かちあえることです。
- 試合観戦するときに注目して欲しいところはどこですか?**
自分(平川選手)がボールを持った時のプレーに注目!!
- 忘れられない試合や競技エピソードを教えてください**
2017年のFIFA U-17ワールドカップのイングランド戦
- 普段から心がけていること・大切にしていることはありますか?**
日々の練習から常に高い意識を持ってプレーすること
- ご自身の競技以外に好きなスポーツ・得意なスポーツはありますか?**
球技系は基本なんでもできます!!
- 調布市の未来のアスリートにメッセージをお願いします**
夢に向かって、好きなことを楽しく、かつ努力して、その夢や目標を叶えてください!!
- 今後のご予定や感想を教えてください**
種々のスタジアムでゴールを決める

課題等

回答いただいたインタビュー内容を、令和3年3月5日号の市報にも掲載し、調布市民に調布市応援アスリート平川選手を身近に感じてもらえる良い機会となった。

所管 **オリンピック・パラリンピック担当**

事業名称 **調布市応援アスリートからのメッセージ動画**

新規

実施日 令和2年10月12日

実施内容 調布市出身でFC東京の平川怜選手から調布市民の皆さまに向けてのメッセージ動画を頂戴し、市の動画ライブラリー(YouTube)やオリンピック・パラリンピック担当のSNSで発信(令和2年10月14日)。また、令和2年10月12日から16日まで調布市役所エントランスで行った調布市応援アスリート紹介パネル展示の際に、デジタルサイネージにてメッセージ動画を放映した。



課題等

投稿したSNSは、市内外の方から多くの反応をいただいた。

所管 子ども政策

事業名称 子ども条例普及啓発事業

継続

実施日

実施内容

市内小学生から「みんな なかよし！」をテーマに絵を募集し、シール加工のうえ、市内を走るごみ収集車に貼る。

絵を描いてくれた子どもたちにFC東京等から提供されたグッズを配布する。

【応募数】

小学校1年生から6年生まで 114名



課題等

例年は、応募してくれた小学生を招いて、自分たちの絵が貼られたごみ収集車の出発を見送る出発式を開催していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、中止といたしました。コロナ禍での開催が課題となります。

所管 福祉総務課

事業名称 第70回“社会を明るくする運動”

継続

実施日 令和2年11月11日（日）

実施内容 【FC東京ホームゲームにおけるPR活動】

場 所：味の素スタジアム

来場者：6,357人

内 容：FC東京ホームゲーム（対北海道コンサドーレ札幌戦）のハーフタイム時に、社会を明るくする運動PR動画を2回放映していただいた。



課題等

コロナ禍でほとんど活動ができない中でも、6,000人以上の方に社会を明るくする運動をPRすることができた。

No

14

所管	高齢者支援室	
事業名称	高齢者体操教室	継続
実施日	中止	
実施内容	保健師による介護予防の講義後、FC東京のスタッフの指導で、高齢者向けに負荷を軽くしたトレーニング方法を体験する。	
課題等		

所管 障害福祉課

事業名称 ぁおぞらサッカースクールin調布 継続

実施日 毎月第2日曜日(4・8月は除く),10月25日(日),12月5日(土)

実施内容 主に知的・発達障害のある方向けのサッカースクールです。FC東京コーチ陣に加え、外部コーチ(NPO法人トラッソス)にもお越しいただき、サッカーを教えてもらいました。障害の程度に合わせたクラス設定をしていただき、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で楽しむことができました。また10月・12月には「交流会」という形で他市のチームも交えて試合を行いました。

【会場】
ゼビオスポーツパーク調布(定期スクール)
西町サッカー場(10月25日交流会)
武蔵野の森スポーツプラザサブアリーナ(12月5日交流会)

【クラス種別】

- ・重度の障害をお持ちの方を対象としたエンジョイクラス(定員20名)
- ・軽度、中度の障害をお持ちの方を対象としたチャレンジクラス(小学生クラス定員20名/中学生以上クラス 定員20名)



課題等

スクールという形で定期的な運動の場となっており、参加者は楽しそうな表情だったのが印象的でした。コーチたちとスクール生の関係も非常に良好で、サッカーの技術だけではなく多くのことを学ぶ機会ともなっています。新型コロナウイルス感染症の影響で本来は5月から毎月開催であったところ、開始が7月からとずれ込んでしまいましたが、その分10月と12月の交流会の日の午前中に補填としてスクールを実施する対応を行うことができました。

交流会について、例年会場の確保が課題となっています。今年度は、屋外のサッカー場も視野に入れることにより西町サッカー場で10月に1度実施しました。晴天だったため、気持ち良い天候のもと実施することができましたが、荒天時や季節によっては使用できないことを考えると、他の施設も含めて検討しなければならないと感じています。また、障害の程度が重い参加者については、「交流会」だと参加を諦めてしまう方もおり、幅広い層が参加できる企画を考えていく必要があると思います。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、1月～2月の定期スクール及び交流会は中止としております。3月開催のものについては参加者の希望も加味し、開催予定です。

所管	障害福祉課	
事業名称	障害者余暇活動支援事業（ほりで〜びらん）	新規
実施日	令和2年10月17日(土), 10月31日(土), 11月14日(土)	
実施内容	<p>(会 場) ミズノフットサルプラザ調布 (参加者) 17人 主に日常生活で運動機会の少ない重度知的障害者を対象とした余暇活動イベントを行う事業。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初予定していた活動プログラムは実施できなかったが、利用者アンケートを実施し、コロナ禍でも特に活動機会のニーズがある一部利用者に絞って規模を縮小し、FC東京の協力のもと余暇活動プログラムを実施した。</p> <p>ストレッチをはじめキックやドリブル等、各自できる範囲でサッカーボールに慣れるプログラムをFC東京スタッフ主導で行った。車いすの参加者も含め、個別の利用者の状況に応じた個別プログラムを実施し、コーチとの記念撮影も行った。</p>	
課題等	<p>次年度以降は、新型コロナウイルスの状況を見つつ、本年度の事業経験を踏まえ対象者を拡大していくことも検討したい。</p>	



所管	保険年金課	
事業名称	個人情報目隠しシール及び封筒でのドロンパ使用	継続
実施日	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
実施内容	特定健診受診券の送付用封筒や健診結果提供依頼の封筒に、「調布市はFC東京を応援しています。」のフレーズを印字しFC東京マスコットの東京ドロンパを挿入してPRを実施。特定健診対象者は40～74歳の国保被保険者。	
課題等	通知した方からの感想や反響を得られるものではないが、調布市がFC東京を応援していることのPRになると考え、今後も継続させていただきたい。	

所管	指導室
事業名称	FC東京選手会 小学校訪問授業 継続
実施日	令和2年11月4日, 12日
実施内容	<p>FC東京の選手が小学校を訪問し、授業や給食等の時間を過ごし児童との交流を図るもの。（今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン訪問にて実施。選手たちの小学生時代のエピソードや夢の話を聞いたり、景品をかけたじゃんけん大会を行うなど、子供たちとのふれあう機会を提供。）</p> <p>対象：市内小学校のうち1～2校、小学三年生以上 会場：各学校の校庭、体育館、教室 参加費：無料 【参加人数（延べ人数）】 調和小学校（6年生4クラス129人） 八雲台小学校（6年生2クラス80人）合計209人</p>
課題等	<p>今年度はコロナの影響で選手たちの訪問ができずオンラインでの開催となり、通信環境の不安があった。映像が一時停止する場面もあったが、無事に実施することができた。じゃんけん大会なども盛り上がり、子どもたちにとって大変良い機会となった。</p>



所管	社会教育課
事業名称	令和3年調布市成人式 継続

実施日	令和3年1月11日（中止）
実施内容	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調布市グリーンホールにて開催を予定していた令和3年調布市成人式は中止となりましたが、中止に伴う代替対応として、市ホームページ上でFC東京の選手から新成人へのお祝いメッセージ動画を令和3年2月28日まで配信しました。</p> <p>対象：今年度20歳を迎える新成人 ※H12（2000）年4月2日～H13（2001）年4月1日生まれで調布市住民基本台帳に記載のある者 対象人数：2,342人（R2年12月末日時点）</p>



課題等	令和4年調布市成人式についても、引き続き、新成人へのエール（ビデオメッセージ等）を頂戴いたしたく存じます。
-----	---

所管 図書館

事業名称 「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2020」発行 継続

実施日 令和2年4月から

実施内容 FC東京の協力を得て「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2020」を作成し3000部印刷。今年もトップチーム全選手からの回答をいただくことができた。前年より印刷部数を1000部増やした。

今年度は新型コロナウイルスス感染拡大防止のため、例年実施している味の素スタジアムでの配付ができなかったが、中央図書館4階のFC東京応援展示コーナー及び市内10分館にて冊子の配付を行った。



課題等

試合前配信で冊子を紹介していただき、中央図書館・分館ともに持ち帰る利用者が増加した。

昨年度に引き続き表紙にFC東京のマスコットや選手の画像を使用できないかご相談したい。

また、中央図書館4F展示コーナーでは、より目立つ展示となるよう工夫したい。味の素スタジアムで冊子を配付する機会があれば積極的に参加したい。

所管 調布市体育協会

事業名称 第6回調布市小・中学生バレーボール交流大会

継続

実施日 令和2年12月20日（日）

実施内容 【内容】
市内の小中学生を対象としたバレーボールの交流大会

【会場】
中学生男子／調布市立第三中学校 第1体育館
中学生女子／調布市立神代中学校 第1体育館
小学生／武蔵野の森総合スポーツプラザ（中止）

【参加チーム】
中学生男子／4チーム 中学生女子／7チーム



課題等

各種ガイドラインを遵守し、午前の部と午後の部に分けるなど、新型コロナウイルス感染症感染の感染対策を行った上で開催しました。小学生の部については、緊急事態宣言発出のため、残念ながら中止といたしました。

スケジュールの都合や今後の新型コロナウイルス感染症感染の状況次第でもありますが、FC東京バレーボールチームの選手と参加選手との交流の場を検討したいと思います。

所管 社会福祉協議会

事業名称 FC東京×赤い羽根共同募金 チャリティーコラボピンバッジ販売 継続

実施日 令和3年12月19日

実施内容 FC東京のチームマスコットである東京ドロンパと、青赤の羽根がデザインされたコラボピンバッジを販売し、売上から製作費を除いた全額を、赤い羽根共同募金へご寄付いただいた（1個500円/800個限定）。
会場：味の素スタジアム（ヴィッセル神戸戦）

【寄付金額】

416,198円

ピンバッジ売上 309,250円（製作費除く）

募金活動 106,948円



課題等

新型コロナの影響でピンバッジの販売数を減らし、また募金活動も限定的なものになったが、多くの方にご協力をいただき多額のご寄付を頂戴することができた。
来年度も継続していきたいと考えているので、時期や内容についてFC東京と検討したい。

所管 スポーツ振興課

事業名称 ソーシャルディスタンス啓発横断幕

新規

実施日 通年

実施内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、東京ドロンパがソーシャルディスタンスを呼びかける横断幕を作成した。実際の2メートルを視覚的に確認できる横断幕を市内屋外スポーツ施設等に掲出、また同デザインを利用したA4ポスターを市庁舎や屋内スポーツ施設に掲出した。



課題等

東京ドロンパの使用はスポーツ振興課だけでなく、街区表示板や封筒等各課が様々な場面で活用しているため、各課で使用できそうな案件があればまず相談いただければと思う。

所管	スポーツ振興課	
事業名称	指導者講習会（オンライン）	継続
実施日	令和2年10月24日	
実施内容	例年小学生サッカー教室と同時に開催していた，地元少年チームの指導者への講習会をオンラインで開催。FC東京のプロコーチから一般の指導者に向けて練習プログラムの組み方や子どもの能力を伸ばすための指導方法等について質疑応答も交えながら講習会を実施した。 対象：市内少年チームの指導者 形式：オンライン（ZOOM） 参加費：無料	
課題等	例年の指導者講習会と形式を大きく変えて実施。例年より参加者は減ったが，実地での講習でない分，子どもとの向き合い方等，指導者だけでなく保護者など子どもと接する全ての方にとって有意義な内容であると感じられた。次年度以降参加者を増やすための広報周知等検討していきたい。	

所管 スポーツ振興課

事業名称 子どもサッカー体験教室 継続

実施日 令和2年11月15日

実施内容 サッカー未経験の子どもたちに、FC東京のコーチ陣によるサッカー教室を実施。年長児は親子一緒になって鬼ごっこやボール遊びを楽しみ、小学生は未経験でも基礎的な練習から試合形式まで楽しめるようなプログラムで構成。
対象：市内在住、在学の年長児～小学生
会場：市民西町サッカー場
参加費：無料
【参加人数（延べ人数）】
年長児31組62人、小学生74人の計138人



課題等

今年度はコロナの関係で定員を減らし、当日も参加者に感染予防のためチェックリストの提出を義務付けるなどして実施。年長児は定員の2倍ほどの応募があったため、急遽2部制をとり応募者全員参加できるよう配慮をいただいた。

所管	スポーツ振興課
事業名称	小学生サッカー教室 継続
実施日	令和2年11月21日
実施内容	<p>調布市少年サッカー連盟と連携し、FC東京のプロコーチの指導でFC東京のホームスタジアム「味の素スタジアム」の近隣施設を使用することで、調布市ならではの環境を最大限活用し、子どもたちにスポーツを楽しんでもらい、子どもたちの健全育成につなげる。</p> <p>対象：市内在学の小学生 会場：調布基地跡地運動広場サッカー場 参加費：無料 募集方法：調布市少年サッカー連盟より各チームへ案内 【参加人数（延べ人数）】 92人</p>
課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により日程調整が難航、開催回数が確保できなかったため、次年度以降引き続き調布市少年サッカー連盟とも調整して回数の確保を図る。

所管 スポーツ振興課

事業名称 自宅でできる「簡単」エクササイズ

新規

実施日 令和2年12月4日

実施内容 コロナ禍での運動不足の解消、市民のコミュニティ形成を目的として、FC東京のクラブコミュニケーターやプロのアスレティックトレーナーから自宅で簡単にできる呼吸法やエクササイズについて少人数で直接指導を受けられる場を設けた。

対象：市内在住、在学、在勤の方

会場：たづくり大会議場

参加費：無料

講師：石川直宏（FC東京クラブコミュニケーター）

栗林史浩（アスレティックトレーナー）

【参加人数】

20人



課題等

感染症対策のため少人数で実施したが、質疑応答では講師が一つ一つ専門的な知識に基づいて答えてくれ、参加者の満足度も非常に高かった。普段運動習慣のある人から全く運動しない人まで幅広い層が参加し、それぞれが気づきを得られた事業のため、次年度以降引き続きシリーズ化、また働く世代などターゲットを絞った会も検討したい。動画での配信を検討中。

所管 スポーツ振興課

事業名称 ルヴァンカップファイナル応援企画

新規

実施日 令和2年11月～令和3年1月4日

実施内容

FC東京がJリーグYBCルヴァンカップファイナルに進出したことを受け、「調布市FC東京と連携したまちづくりに～プロジェクトチーム」を招集、その中で挙げられた各種企画を実施。今回初めての試みとして、対戦相手柏レイソルのホームタウン柏市や府中市・三鷹市との連携企画を実施した。柏市との図書館展示や各市との応援シャツ着用企画を行い、試合に向けて盛り上げることができた。①市役所2F総合案内でのミニ展示②調布市オリジナルポスター③調布市×柏市ポスター④ホーム最終戦での味の素スタジアムでのPR⑤有志による現地応援レポート⑥ユニフォーム着用デー等を実施



課題等



柏市と連携することで、様々なメディアやSNSで取り上げられ、両市民からも良い反応を得られた。柏市とは引き続き連携を継続し、また別のチームのホームタウンとも新たに連携を探っていきたい。庁内でも応援シャツ着用に協力してくれた課が多くあり、全庁的な一体感を持って盛り上げることができたため、次回以降も引き続き協力をお願いしたい。

所管

産業振興課・スポーツ振興課

事業名称

調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム

継続

実施日

令和2年10月19日、12月7日

実施内容

FC東京創設20周年を契機に、FC東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として、調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チームを設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、公募委員も含む23名の委員が次の事項について検討を行うもの。

- (1) FC東京創設20周年記念関連事業の推進における市の取組に関すること。
- (2) FC東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進に関すること。
- (3) ホームゲーム来場者及びクラブサポートメンバーの拡大等、FC東京の活動の応援に関すること。

- (4) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

○令和2年度第1回全体会 令和2年10月19日

第2回全体会 令和2年12月7日

（内容）ルヴァンカップファイナルに向けた応援企画



課題等

FC東京クラブ20周年を契機に発足したPTで、2019シーズンは終盤の優勝争い時の応援企画を検討した。今年度はルヴァンカップファイナルに向けた応援企画を検討し実現させた。今後も他のJリーグクラブホームタウンとの連携や、FC東京のホームタウン同士の連携など、FC東京を活用したまちづくりについて検討していきたい。